

6. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI=Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします. 2013 年度の MSJ-SI につきましては 2 件の応募があり, 学術委員会で検討の結果, 以下のように決定いたしました.

○2013年度 MSJ-SI

テーマ: Development of moduli theory
(モジュライ理論の発展)

組織委員長: 金銅誠之 (名古屋大学)

今年度の MSJ-SI の予定は以下の通りです.

○2011年度 MSJ-SI

テーマ: Nonlinear dynamics
in partial differential equations

日時: 2011年9月12日(月)
~21日(水)
(受付 9月11日(日))

場所: 九州大学医学部百年記念講堂

組織委員: 栄伸一郎 (委員長), 川島秀一,
隠居良行, 山田直紀, 仙葉隆,
小林孝行, 三沢正史, 辻川亨,
池島良

Plenary speakers :

Matano, Hiroshi (Univ. of Tokyo)
Fusco, Nicola (Unv. of Napoli),
Pego, Robert (Carnegie Mellon Univ.)
Feireisl, Eduard (ASCR)

Todorova, Grozdena (Univ. of Tennessee)

詳細については以下のウェブページをご覧ください.

[http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/
~tohru/msjsi11/](http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~tohru/msjsi11/)

来年度の MSJ-SI の予定は以下の通りです.

○2012年度 MSJ-SI

テーマ: Schubert calculus
(シューベルト・カルキュラス)

組織委員長: 成瀬弘 (岡山大学)

●2014年度 MSJ-SI テーマ公募について

学術委員会では2014年度(平成26年度)の MSJ-SI についてテーマ公募を行い

ます.

締切は2012年5月31日です.

学術委員会のウェブページ

<http://mathsoc.jp/comm/scientific/>

MSJ-SI は, 以下の特徴を持ちます.

- ・数学会から 200 万円の助成金が提供されます.

- ・数学会事務局が事務手続きについて可能な範囲において援助を行います. (詳細については下記メールアドレスまで問い合わせください.)

- ・東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国と台湾から限られた人数の大学院生, 若手研究者を, 数学会が招待しています. (この部分については数学会理事会の担当となっています.)

- ・専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行うことを推奨しています. (これを MSJ-SI の方向とお考えください.)

公募に申請される方は, どうか締切までに, 研究集会のテーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を寺尾宏明 (terao(at)math.sci.hokudai.ac.jp) までお送りください. また, このメールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします.

(学術委員長 寺尾宏明 記)